

高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所  
陽子加速器共同利用実験申請書・計画書の作成要領

**A. 作成上の一般的な注意**

1. 書類は全て A4 版縦長横書き左綴じとします。
2. 申請書及び計画書の記入にあたっては、黒インクを用いて下さい。鮮明なコピーでもかまいません。Microsoft Word と(j)LaTeX のサンプルファイルも用意されています。実験企画調整室に問い合わせして下さい。ただし、電子メールによる受け付けは行いません。押印（またはサイン）のうえ、研究協力課共同利用第一係に提出して下さい。
3. 申請書（1 頁）は、必ず所定の様式を使用して下さい。
4. 計画書の様式は自由としますが、所定の内容（下記 C を参照のこと）を必ず記入して下さい。

**B. 「共同利用実験申請書」の作成要領等**

1. 申請書は、必ず所定の様式を使用して下さい。
2. 複数の実験責任者は原則として認めません。なお、国際共同実験で外国人が実験責任者の場合は、日本人の連絡責任者を明記して下さい。
3. シフト数は、計画書の実験実施計画に記入されている予備実験と本実験のシフト数の合計を記入して下さい。
4. 実験に要する費用は、計画書の実験経費の内訳の項に記入されている年度毎の経費（実験費及び旅費）の総計を記入して下さい。

**C. 「共同利用実験計画書」の作成要領等**

計画書の様式は自由としますが、下記の事項について（特に項目 1～5 の事項については必ず）記載して下さい。

**1. 実験組織**

実験責任者及び実験協力者の氏名・所属・身分および参加度等を記載して下さい。

**2. 実験課題の内容**

(1) 実験の目的及び意義、(2) 国内外における他の実験との関連、(3) 実験の方法及び実験計画のレイアウト等、(4) 実験のマシントイム算出の根拠、などについて記載して下さい。

### 3. 実験実施計画

実験の準備から実験の終了までの実施事項を、年月を追って記載して下さい。当研究所外での実施事項と当研究所内での実施事項を区別して記載して下さい。予備実験の期間、本実験の期間を希望シフト数とともに、明確に記載して下さい。

### 4. 実験経費の所要内訳および実験旅費

実験経費については、項目毎の単価・数量と総額を記載するとともに、項目3の年次計画との関連を明確にして下さい。実験旅費については、年次毎の必要経費と総額を記載して下さい。

### 5. 加速器・ビームチャンネルについての条件

- (a) 一次ビーム（強度、エネルギー、パルス特性、ビームプロファイル等）
- (b) 一次標的（標的物質、サイズ、位置等）
- (c) 二次ビーム（ビームチャンネル、運動量範囲、セパレーターの条件等）
- (d) 特殊なビームの希望がある場合には、上記（a）～（c）の事項に沿って記載して下さい。この場合、前もってビームチャンネルグループと打ち合わせを行って下さい。

### 6. 実験用機器の使用計画及び共通的施設の利用希望等

- (a) オンライン・オフライン計算機の使用希望（機器名と使用期間）
- (b) 回路モジュールの使用希望（機器名と使用期間）
- (c) 低温装置（機器名と使用期間）
- (d) 実験室に係わる希望（広さ、配置、使用期間、AVR電源、クリーンルームの使用計画等）
- (e) 工作室など当研究所の共通施設等の利用希望
- (f) 上記の項目以外で、当研究所の現有機器・施設等の利用希望等
- (g) 実験者側で用意する装置・機器

### 7. その他連絡事項